

スイミー①

名前

一ばめんを読んで、スイミーについてまとめよう。

に、

の

が、たのしくくらしていた。

みんな赤いのに、一ぴきだけは、

よりも

だれよりも

名前は

○スイミーは、きょうだいたちと、
どんなことをして、たのしくくらして、
いたでしょう。

ニばめんを読んで、できごとを

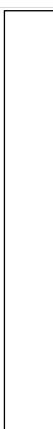
たしかめよう。

ある 日、

まぐろが、

○一人で、くらい海のそこを
およぐ スイミーの 気もちを
考えよう。

みたいに



小さな 赤い、

魚たちを、

まぐろは、



のみこんだ。

にげたのは

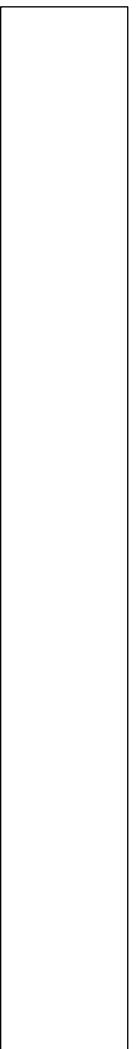
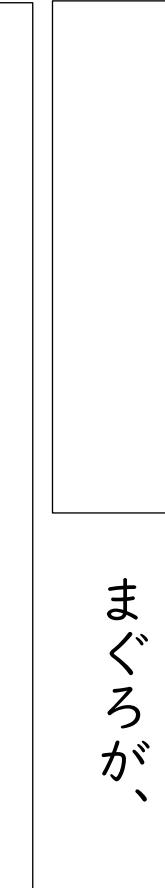
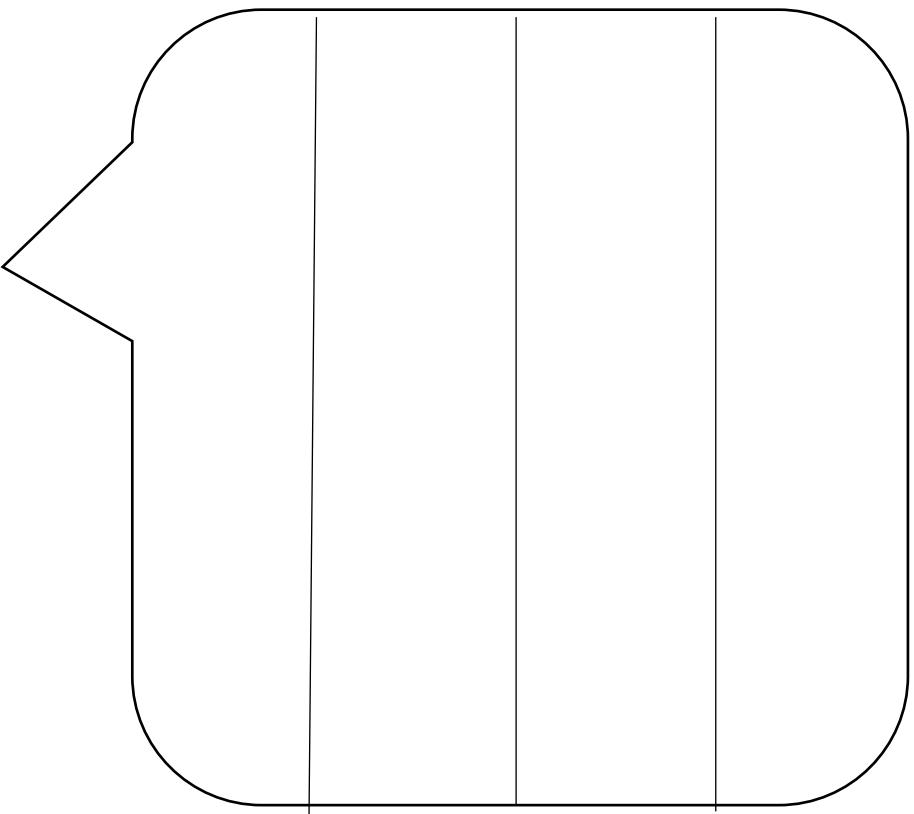
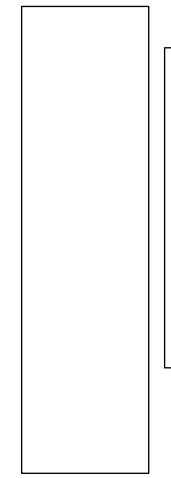
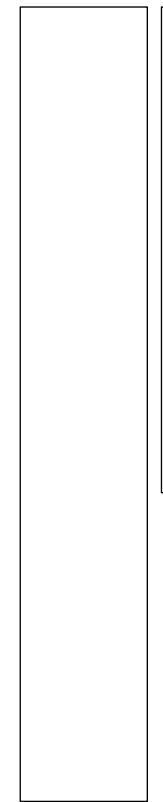
スイミーだけ。

スイミーは

およいだ、

そこを。

海の



三ばめんを読んで、できごとを たしかめよう。

けれど、海には、すばらしい ものが
いっぱい あつた。おもしろい ものを見
る たびに、スイミーは、だんだん
元気を とりもどした。

○すばらしいものや
おもしろいものを
いっぱい 見た スイミーの
気持ちを 考えよう。

くらげ。

いせえび。

魚たち。

ひつぱられて いる。

岩から

生えて いる、

うなぎ。

そして、風にゆれる

四ばめんを読んで、できごとをたしかめよう。

そのとき、岩かげに

スイミーのとそつくりの

スイミーは言つた。

「出てこいよ。みんなであそぼう。
おもしろいものがいっぱいだよ。」

小さな赤い魚たちは、こたえた。

「ダメだよ。大きな魚に食べられてしまうよ。」

「だけど、いつまでもそこにじつとしている
わけにはいかないよ。なんとか考えなくちゃ。」

スイミーは

考えた。

考えた。

五ばめんを読んで、できごとをたしかめよう。

それから、とつぜん

スイミーはさけんだ。

「そうだ。みんな

いつしょにおよぐんだ。

海でいちばん大きな

魚のふりをして。」

スイミーは教えた。けつして

みんな

みんなが、一ぴきの大きな

魚みたいにおよげるようになつたとき、

スイミーは言つた。

「ぼくが、目になろう。」

あさのつめたい水の中を、

ひるのかがやく光の中を、

みんなはおよぎ、

大きな魚をおい出した。

○大きな魚をおい出した
スイミーの気持ちを
考えよう。

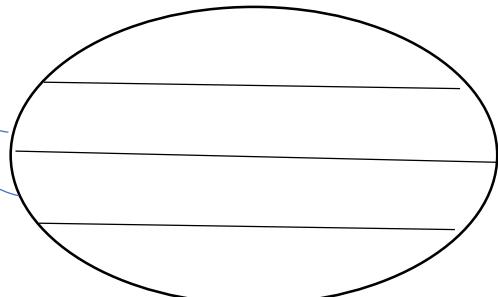
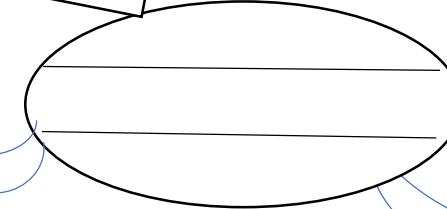
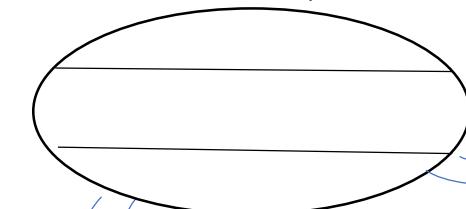
8 グループで 読み方を 考えよう。

9 グループで れんしゅうしよう。

10 グループで れんしゅうしたり、見合ったりしよう。

11 すきな ばめんの ようすが つたわるよう に 音読をしよう。

ゴール



7 5ばめんを 読んで、
できごとを たしかめよう。

月 日



6 4ばめんを 読んで、
できごとを たしかめよう。

月 日



5 3ばめんを 読んで、
できごとを たしかめよう。

月 日



4 2ばめんを 読んで、
できごとを たしかめよう。

月 日



1 お話を 読んで、
かんそうを 書こう。

月 日



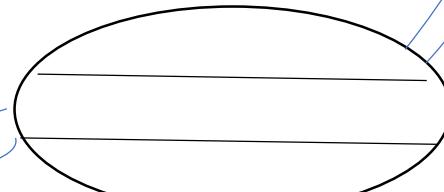
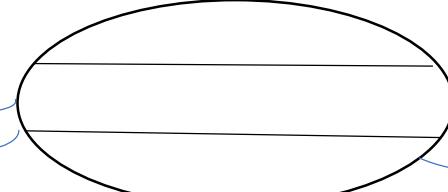
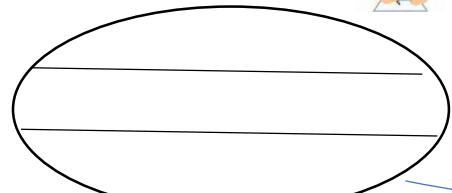
2 お話を 読んだかんそうを
こうりゅうして、学しゅうの
けいかくを 立てよう。

月 日



3 1ばめんを 読んで、
スイミーについて
まとめよう。

月 日



スタート

名前